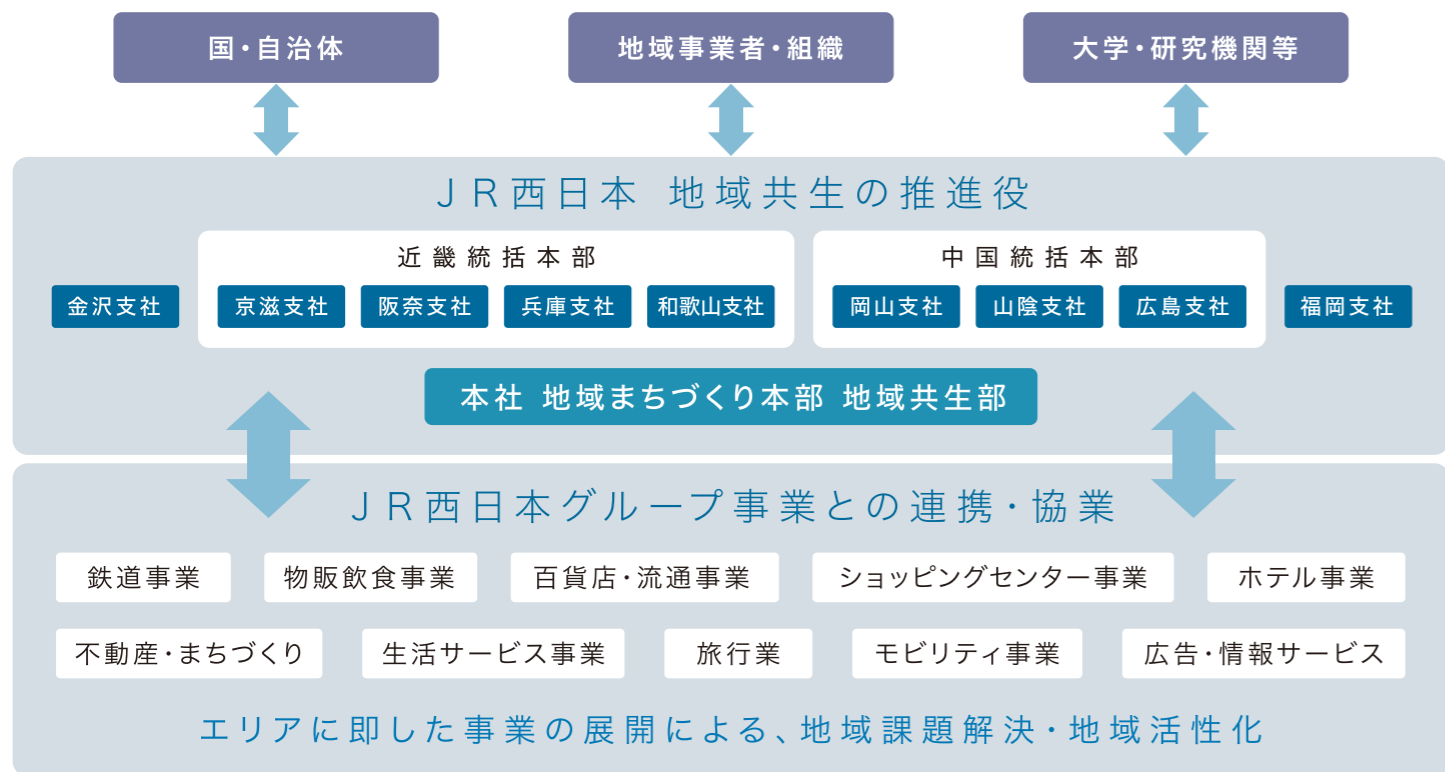


私たちはこれからも沿線地域の皆様と一体になって
魅力的で持続可能な地域づくりに取り組み、人々の出会いと
笑顔あふれるウェルビーイングな暮らしを支えます。

地域のものがたりを乗せて 



■ 推進体制 私たち地域共生担当が地域の皆様方との連携・共創窓口となり、JR西日本グループ総力で地域共生を推進します。



発行元: 西日本旅客鉄道株式会社 地域まちづくり本部 地域共生部
所在地: 大阪市北区芝田二丁目4番24号
発行年: 2023年7月



JR西日本グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



地域のものがたりを乗せて

JR西日本グループ 地域共生の取り組み

人、まち、社会のつながりを進化させ、心を動かす。未来を動かす。



もっとながる。未来が動き出す。

人、まち、社会のつながりを進化させ、心を動かす。未来を動かす。

Vision

私たちはこれまでも地域の皆様と一体となって、誰もが訪れたい、住みたい沿線づくり、地場産業振興や地域資源を活かした地域価値創造に取り組んでまいりました。

ライフスタイルの変容に伴い、各地域特性にあった豊かな暮らしづくりや、災害や環境変化に強い元気な地域経済づくりが一層求められていると感じます。

私たちは、サステナブルな社会の実現に向け、よりよい環境・経済・社会づくりに貢献します。

▶ JR西日本が取り組んできた地域共生

誰もが訪れたい、住みたい地域づくり

観光誘客/まちづくり他 エリアに即した事業展開

地域との対話、地域資源や課題の共有

▶ めざす地域社会



魅力的な都市と地方が近接する環境を活かし、ヒト・モノ・カネが地域内循環・エリア連携し、100年後も元気に潤う地域社会づくりをめざします。

▶ めざす暮らし



元気な地域社会づくりを通して、人と人の出会いや笑顔が生まれる安心・豊かな暮らしを支えます。

Challenge

私たちは広域プラットフォームとして、また、様々な分野の事業をグループで展開している事業者として、

人と人、人と地域をつなぐ/えき・まち等リアルな場とデジタルの情報をつなぐ/沿線の地域と地域をつなぐ等の役割を果たすことで、

それまで出会えていなかった人や情報にめぐりあうことでの気づきや刺激、相互連携による地域ビジネス振興の触媒となることをめざします。

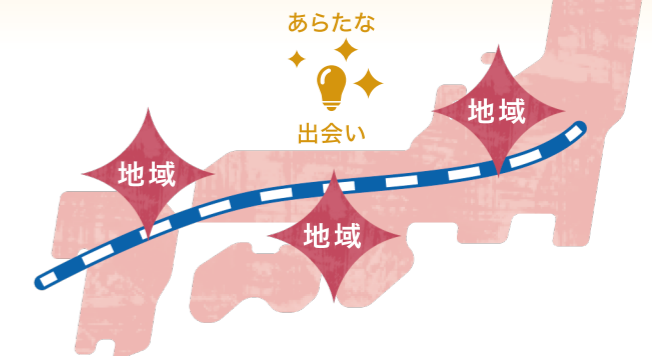
1 人と人、人と地域をつなぐ



2 リアルの場と情報をつなぐ



3 沿線の地域と地域をつなぐ



Solution

各地域の活性化に役立つソリューションを提供することで、地域課題を解決し、未来の「well-being」な暮らしを実現していきます。

人々と地域の魅力のつながりづくり

地域との協業による環境に配慮したエコなまちづくり

持続可能で暮らしやすい地域づくり

利用者にとって便利で持続可能な交通の実現

地域共生の取り組みを通じてSDGsの達成に貢献します



Solution

「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の運行を契機とした地域活性化

「瑞風」のお客様が立ち寄られることをもって、地域資源の再発見、観光地自体の磨き上げや情報発信を、地域の皆様と一緒に進めています。



地産地消で、地域にお住まいの方がまごころを込めたお料理を提供する「室山(むろやま)農園(鳥根県豊南市)」。



「瑞風」と関わりのある地産品を「瑞風ゆかりの逸品」として、オンラインショップ「DISCOVER WEST mall」にて全国に販売しています。



簡易型IC車載器の導入

コミュニティバスやデマンドタクシー等の交通機関に、全国で相互利用できる「10カード」のICサービスを、低コストで導入いただくことができます。通信環境が悪いエリアでの処理や、機器を携帯した使用も可能です。



地域活性化の拠点としての駅の活用

地域と連携し、駅舎内のスペースをコミュニティの拠点として活用し、地域との共生・活性化に取り組んでいます。



北陸線大聖寺(だいしょうじ)駅 コワーキングスペース

個性ある駅まち空間の創出

沿線の自治体や地域の皆様と連携しながら、個性ある駅まち空間の創出に取り組みます。公共空間を活用したプレイスメイキングやウォークアブルな歩行者空間の整備等、駅とまちがつながり持続的な賑わいのある空間をデザインすることにより、地域の活性化や課題解決に貢献します。



神戸線三ノ宮駅では、駅前広場の一部を人々が集う空間に変え、駅やまちから人々が集まり賑わう「人の広場」を創出しました。

地域イベントに関連した機運醸成

和歌山県串本町と那智勝浦町にある日本初の民間ロケット射場「スペースポート紀伊」から、記念すべき第1号のロケット「カイロス」の打ち上げを予定しています。地域と連携し、特急くしお号にロケットラッピングを施し地域の機運を高めつつ、地域と一緒に盛り上げています。



国際芸術祭「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の開催

自然豊かな岡山県北部を舞台にアートで地域の魅力を引き出し、芸術祭を核とした新たな周遊・集客コンテンツを創出するとともに、観光や文化、そして地域の振興に繋げるために、岡山県や地域の皆様とともに連携しながら進めているプロジェクトです。

会期：2024年9月28日(土)～同11月24日(日)

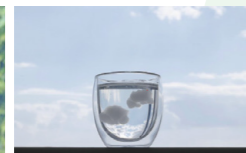
開催エリア：津山市、高梁市、新見市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町(うちアート作品設置市町村：津山市、新見市、真庭市、鏡野町、奈義町)

森の芸術祭 岡山

FOREST FESTIVAL OF THE ARTS OKAYAMA



アートディレクター
長谷川 祐子
金沢21世紀美術館 館長
東京藝術大学 名誉教授



AKI INOMATA
昨日の空を思い出す
Thinking of the Yesterday's Sky
2022-ongoing

おためし暮らし

「仕事はそのまま、ローカルに暮らし、ときどき出社」のライフスタイルの実践を支援しています。



当社と沿線5自治体(丹波篠山市、南丹市、高島市、和歌山市、甲賀市)の二人三脚で、ローカル暮らしの魅力発信や、おためし住宅のご提供、入居中の通勤費支援等を行っています。

デマンド交通の展開

地域公共交通の利便性向上に加え、持続的な地域活性化に貢献し得る「地方版MaaS」の構築に向けた挑戦を継続しています。2023年4月には、デマンド交通の配車における、中山間地域での地域公共交通の持続性確保を目的とした「自家有償旅客運送用支援システム」を開発しました。



せとうちファンづくり

せとうちの3市(竹原・三原・尾道)と連携し、せとうちの資源・魅力や地域課題を活かし、地域外からの多様なファンの創出に取り組んでいます。



(株)おてつたびや他のパートナー企業と連携し、農業や地元企業の担い手不足、地域コミュニティの活力低下等の課題解決に繋がっています。

京都・梅小路での取り組み

京都・梅小路エリアでは、50を超える企業や団体、行政等の皆様とともに「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」を結成し、様々な活動を通して、賑わいの創出や回遊性の向上、安心・快適で楽しく過ごせるまちづくりに取り組んでいます。



エリアの夜の賑わいづくりを目的に2022年に開催した「梅小路ハイライン夏祭り」では、ファミリー層を中心に、連日多くの方々にお越しいただきました。



地域の皆様との連携イベントの実施



神戸線兵庫駅での出発式には神戸市兵庫区長、地元スポーツチームのヴィッセル神戸、権利購入された一般のお客様にも参列いただきました。

和田岬線を走る103系列車の引退セレモニーや関連イベントを自治体、地域企業、当社グループの連携により実施。SNS等での多くの反響をはじめ、たくさんのお客様に和田岬線103系を知っていただく、ご利用いただく機会となりました。

地域連携協定締結を通じた交流、関係人口の拡大

行政等との地域連携協定の締結を通じて、人の往來の促進や、居住満足度向上、地域ファンの拡大に繋がる様々な取り組みを実施しています。



紀勢線湯浅駅旧駅舎を和歌山県湯浅町へ譲渡し、駅ホームの一部をカフェスペースにする等のリノベーションにより新しい街の拠点、人の集まる空間を創出しました。



福岡県那珂川(なかがわ)市・春日市とそれぞれ包括連携協定を締結。「博多総合車両所見学ツアー」等のふるさと納税返礼品の開発や「新幹線が見える公園」の整備への協力等、魅力的なまちづくりに取り組んでいます。

Solution Close-up

持続可能で活力ある未来を創り、その先の一人ひとりが思い描く暮らしを様々なパートナーと共に実現していきます。

1 地域の皆様とともに、地域や地産品の魅力の磨き上げ・発信



西日本ならではの魅力ある産品を、地域の皆様と一緒に掘り起こし、磨き上げる取り組みを各地で実施しています。あわせて、これらの“逸品”を全国に向け販売するJR西日本直営オンラインショップ「DISCOVER WEST mall(ディスカバーウエストモール)」を運営しています。また、新幹線や特急列車等の旅客列車により即日輸送した地域産品のブランド「FRESH WEST(フレッシュウエスト)」や、産品を拠点駅構内等で販売するマルシェ等も展開しています。

これらの取り組みを通じ、販路の拡大により地域経済の活性化に貢献するとともに、商品が育まれた環境や生産者の声を直接または間接的に消費者へ伝えることで、その地を「訪ねてみたい」「応援したい」という気持ちを駆り立て、交流人口や関係人口の拡大を通じた持続可能な地域づくりにも貢献してまいります。



オンラインショップで販売中の西日本各地の産品を手にとって購入し、「WESTER」会員になることで特典も得られる「OMO」イベントを開催



山陰エリアでは、「山陰いいもの探険隊」が地域の資源を発掘・発信。行政、経済団体や新聞社と連携して、商談会も兼ねた大規模イベント「山陰いいものマルシェ」を2015年からエリア内外で実施しています。



岡山・備後エリアでは、「ふるさとおこしプロジェクト」を展開。地域の専門家とともに地域の逸品を評価・認定する「ふるさとあつ晴れ認定委員会」を2015年から定期的に開催し、商品開発も行っていきます。



広島・山口エリアでは、“来てみて”味わってみて“住んでみて”を掘り下げる“てみてプロジェクト”を推進。地域事業者×デザイナーのマッチングによる高付加価値商品と人材開発支援を展開しています。



高速・低振動での即日輸送で新たな価値を創出。物流業界における「2024年問題」にも対応します。



地方の農産品を都心の駅へ輸送し販売することで、モーダルシフトや食品ロス低減にも貢献します。

コミュニティビジネスの展開

観光客誘致や地域振興、地域交通の活性化といった地域課題の解決を目的に、地域の皆様と一緒にビジネスの手法で解決する取り組みを、各地で展開しています。JR西日本グループが持つモビリティサービスやライフデザイン分野での強み、またエリア内外へのネットワーク力と情報発信力を活かし、行政をはじめ地域の人々、企業や資源と連携しながら、持続可能で活力ある地域づくりに貢献します。



2019年5月に国土交通省中国運輸局・瀬戸内海汽船グループ・JR西日本グループにより「せとうちエリアの海事振興に向けた連携協定」を締結。鉄道・運輸機構(JRTT)の船舶共有建造制度を活用して、両社グループの共同事業として2020年夏に観光型高速クルーザー「シースピカ」を導入しました。2023年5月のG7広島サミットでは要人輸送に使われました。



シースピカの寄港地である尾道市・瀬戸田では、2022年に当地に根ざした地域商社「しおまち企画」とJR西日本、JR西日本イノベーションズ*の間で業務提携契約書を締結。商業・宿泊施設を展開する「SHOP&HOUSE PROJECT」の推進に向けJR西日本グループとして出資を行いました。
※JR西日本が100%出資するコーポレート・ベンチャー・キャピタル



福井県とJR西日本金沢支社にて連携協定を締結。北陸新幹線の福井・敦賀開業を契機として、JR西日本グループと福井銀行グループ、技術コンテンツを持つ企業による共同出資によりSPC(特別目的会社)を設立し、京福バスとの連携により、観光周遊型XRバスを導入することで、観光誘客と地域交通の活性化を目指します。

2 MaaS、地域ポイント等、デジタルを活用した生活サービスの提供



ICOCAを活用し、特定の地域内のみで発行と利用ができるポイントサービスを展開しています。加盟店でのお買い物のほか、地域のボランティア活動やエコ活動への参加等でポイントを付与することができるため、地域内経済循環の活性化に留まらず、地域内のつながりづくりにも貢献します。また、ICOCAの固有IDを活用することにより、子育て支援等、特定の市民へのポイント給付といった行政施策との連携が可能です。地域外の方であっても、お手持ちのICOCAに、このポイントを付与することも可能であることから、例えば、観光事業と組み合わせることにより、地域外からの「ヒト・モノ・カネ」の地域内への流入も期待できます。こうした取り組みにより、誰一人取り残さない、地域と市民を支えるデジタル化を後押しし、より活力ある地域の実現に貢献します。



ICOCAでご利用いただける新見市コミュニティバス「ら・くるっと」



自治体オリジナルのICOCAカードを作成いただけます。
※画像は岡山県新見市のオリジナルICOCA
※作成には一定の条件があります。



端末一つで電子マネー決済のほか、地域ポイントの利用が可能です。



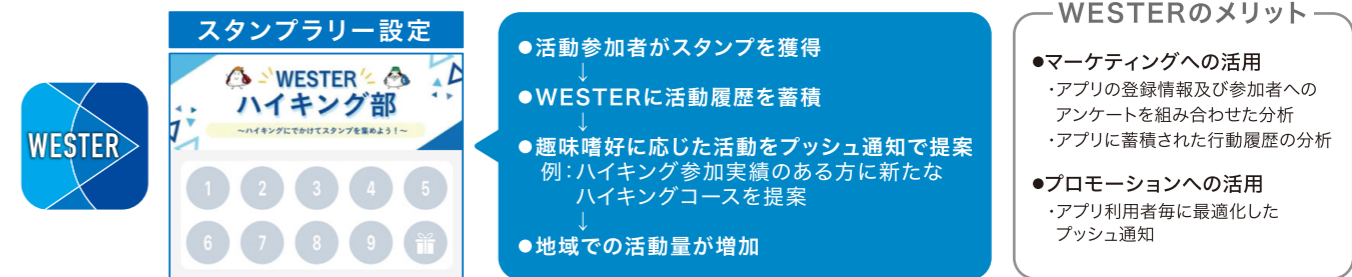
ICOCAのため、幅広い世代の方々に安心してご利用いただけます。

3 人々の趣味嗜好に着目した地域ファンづくり



未来の「well-being」な暮らしを実現するための「地域づくり」を目指し、ハイキングや芸術鑑賞等人々の趣味嗜好に着目し、地域の資源や魅力を活かして「地域ファンづくり」に取り組んでいます。地域を繰り返し訪れる方を増やし、持続可能で活力ある地域づくりに貢献します。

【WESTERを通じた地域ファンづくり】



4 環境に配慮した持続可能な暮らしへの貢献



国が目標とする「2050年カーボンニュートラル」にあわせ、環境長期目標「JR西日本グループ ゼロカーボン2050」を掲げ、地域社会と連携し、脱炭素化の取り組みへの参画、MaaS等を通じた鉄道・公共交通の利便性向上や、都市圏・都市間輸送における鉄道の環境優位性の訴求強化を通じた旅客輸送のモーダルシフト推進により、持続可能な暮らしの実現に貢献します。



民生部門のCO2排出削減を地域特性に応じて先行的に実現する地域が選定する「脱炭素先行地域」として、松江市及び地域企業と共同提案したモデル「『国際文化観光都市・松江』の脱炭素化による魅力的なまちづくり〜カーボンニュートラル観光〜」が選定されました。

5 持続可能な地域旅客運送サービスの実現



都市拠点等における公共交通の機能強化と魅力向上に向けた研究を、産学官で連携し進めています。自動運転・隊列走行BRTの社会実験に向けた取り組み等を通じ、モビリティの機能向上による暮らしやすいまちの実現に貢献します。



国立大学法人広島大学及び東広島市と連携協定を締結(2022年11月)し、実証実験を開始予定。